



西成地域 天下茶屋パル委員会ニュース

発行：西成地域活動委員会

とうもろこし 収穫体験 7月2日

曇り空の中、玉出南公園から紀ノ川農協へ向けて出発！

バスの中では紀ノ川農協さんの取り組み紹介DVDを観て、学びました。

- ・高齢化など生産者さんが直面しておられる課題
- ・離農が進んで増えた休耕地を活用されていること などなど。

初めてうかがう話もたくさんありました。

参加の皆さんの声

- ・最近の異常気象で農家さんは大変。どんな天気でも作業がある。
- ・収穫してみても大変さが分かり、ありがたく頂かなくてはと感じた。
- ・雨でぬかるんでいたけど楽しかった。来年もまた行きたい。
- ・いつも購入している作物に親しみがわきました。注文書を見るのが楽しみになりました。 ・虫がちょっと怖かった。
- ・生産者さんの実際の声が聞けて心に残った。
- ・貸し農園など興味はありますが大阪からは遠いかなあ。
- ・収穫までの日々の作業、ご苦労を知る機会となった。



大人21名子ども1名と、たくさんの応募がありました。ありがとうございました。

皆さんの日ごろの行いのおかげで、収穫時や徒歩の移動時は雨もあがり

道の駅での買い物もでき、ラッキーな一日を過ごしました。

パル委員会での「とうもろこし収穫体験行ってみようか！」の一言から

実現したとりくみで、西成区の組合員さんと楽しく過ごせて良かったです。

次の収穫体験にはあなたもぜひ、一緒にしましょう♡♡



紀ノ川農協のとりくみ

「地域農業の担い手不足」と「生産者の高齢化」問題。

和歌山県でも1年間の新規就農者が100人なのに対して毎年1000人の農業従事者が減少しており、このペースでは5～10年後には現在の半分になると考えられています。

この状況を変えるべく、紀ノ川丸ごと体験農園では地域の遊休地や空き家を活用して『農業を学び考える場づくり』**人材の育成**に取り組んでいます。

また、未利用材を活用し、バイオマス発電所で生産された**バイオ炭**を散布しました。これにより、大気中の二酸化炭素が畑に貯留され、土壌の中に年間0.4%の炭素を増やすと大気中の二酸化炭素が増えなくなるといわれています。こういった未来の環境に向けたとりくみもしています。

ナリス化粧品工場見学

4月26日

パル委員会では
いろんなことを
やっています！

フリーリアはバラの香りだけではなく、保湿効果が高く、国産原料で手をかけて作られています。

直接肌に付けるものだという意識で、減農薬で栽培されたバラ。安全安心の商品だとわかりました。

参加者の声

- ・バラのエキ스는香りだけでなく保湿効果が高いのですね！
- ・何気なく使っていましたが継続したいと思います。
- ・自分のことを大切に、よいものを選びたい。

※裏面にはパル委員会の問い合わせ先を掲載しています。

